



萱町通りと水上ビル（北側）の魅力づくりを地域みなさんで考えるためのワークショップを開催しています。（全プログラムは裏表紙をご参照ください。）この通信では、第4回の様子をお届けします。

<第4回ワークショップテーマ>

みちづくりの基本計画を吟味しよう（2）



水上ビル（北側）... 2p、4p～5p

11月21日（月）19時から、第4回水上ビル（北側）のストリートデザインワークショップが開催されました（会場 | こども未来館）。沿道の方や市民をはじめとして、30名弱の人が集まりました。前回の議論を踏まえて修正された計画案をもとに、課題や改善ポイントを確認しました。ワークの後半では、将来的な営みの変化も見越した使い方のイメージをふくらませながら、みちを豊かに使いこなすための維持管理の課題や使いこなしのアイデアについて、活発な議論を行いました。

萱町通り ... 3p、6p～7p

11月28日（月）19時から、第4回萱町通りのストリートデザインワークショップが開催されました（会場 | こども未来館）。沿道の方や市民をはじめとして、30名弱の人が集まりました。前回の議論を踏まえて修正された計画案をもとに、グループワークで残る課題の確認と滞留空間の設えなどの具体的なデザインイメージをふくらませる議論を行いました。最後の全体討議では、みちを豊かに使いこなすための維持管理のしくみなど、整備後の活動に向けた話し合いを行いました。

今回の WS における議論は基本計画の検討に反映されます。
次回、第5回の最終回はよいよ計画案の発表です。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください！

水上ビル（北側） 第4回ワークショップのすすめ方



水上ビルの当日の流れ >>>>>



1) これまでの議論を活かした計画の改善案についての説明。模型なども使いながらデザインを確認します。



2) 各グループで課題が残る点について意見交換します。



3) 「照明はもう少し暗いほうがいい？」など、細かな点もチェック。



4) 良くなったと思う点も共有します。



5) 「使いこなしのアイデアシート」を使って、詳細計画の議論をします。



6) 事例写真も参考にしながら、アイデアをふくらませます。



7) 「PLAT前ひろば」「歩道上の空間」「舗装」「照明」「植栽」「アーケード」をテーマごとに掘り下げます。



8) 良くなったと思う点（ピンクの付箋）と課題が残る点（ブルーの付箋）が配された図面が完成しました。



9) 発表です！「まちなか広場をはじめから区分せず、もっと積極的に民地とみちを一体化させよう！」



10) 「工事中などネガティブな期間中の活動や、店舗誘致など仲間づくりの仕組みなどを検討していこう！」



11) 「沿道の人任せというのではなく、大学や多様な担い手がかかわる仕組みをつくっていこう！」

TOPICS

計画チームからは、今回の整備計画（STEP①）だけでなく、沿道の協力や将来的な営みの変化を見越したストリートデザインがイメージパスとして提起されました。沿道のまきこみや様々な活動をおこし、「歩く楽しみ」のあるみちへのイメージ(STEP②・③)を共有しました。



→ : 変化した部分

萱町通り 第4回ワークショップのすすめ方



萱町通りの当日の流れ >>>>>



1) 計画チームの説明を聞きながら、改善したポイントを確認します。



2) グループに分かれて、課題が残る点や良くなった点について意見交換します。



3) ピンクは課題、ブルーの付箋紙には良い点を書きます。「夜間はベンチをしまっておけば、清潔で安心！」



4) 「新しい自転車利用の習慣をつけないか！」



5) 「安全性の立場から歩行空間、滞留空間、自転車道、車道を区切りつつ、雰囲気としては一体的に。」



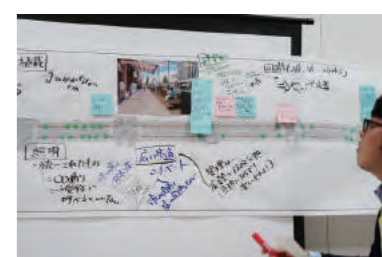
6) 「使いこなしのアイデアシート」を記入し発表します。



7) 「歩道上の空間」「舗装」「照明」「植栽」「アーケード」等、関心のあるテーマごとに掘り下げる議論をします。



8) イメージ写真を使いながら、滞留空間が具体的にどんな設えだといいか話し合います。「お尻がつめたくない座面がいいナ！」



9) 発表です！「〇〇通り、の愛称で呼べるといいナ！」



10) 「人のふるまいが上品でない、みちが上品でも意味なし！」



11) 「地元による維持管理がどうなされていくかに興味があります！」



TOPICS

計画チームからは、今回の整備計画（STEP①）だけでなく、沿道の協力や将来的な営みの変化を見越したストリートデザインがイメージパスとして提起されました。沿道のまきこみや様々な活動をおこし、「歩く楽しみ」のあるみちへのイメージ(STEP②・③)を共有しました。



→ : 変化した部分

水上ビル 計画素案を吟味しよう(2)

前回(第3回)のワークショップの意見を踏まえて修正された全体計画が提示され、詳細の見直しについての議論を行いました。さらにワークショップ後半では、将来に向けた営みの変化を考えながら、整備後の使い方や管理の仕方を話し合いました。

当日提示された計画素案

凡例 : ワークショップで出た意見

基本的な考え方

水上ビルの営みに寄り添い、
新しさと懐かしさが交わる生活空間

- ①水上ビルらしさと新しさが入り混じる通りとは?
 >>> 北側・南側(水上ビル側)の歩行空間の設えを差別化し対比を生む
 >>> 舗装の統一により水上ビルの連続性を確保と人の流れを誘引
 >>> ファザードの個性を残しながら新たな魅力を引き出す
 舗装と照明の一体的なデザイン

- ②まちなか広場を取り込む賑わいの形成とは?
 >>> 歩道の拡幅とフラット化を軸とした道路と広場の一体感を
 日常時・イベント時ともに感じられる歩行者中心の道づくり
 >>> 道路と広場の一体感を感じられる高木の配置、舗装パターンの付与
 >>> 道路が強調されすぎない歩車道境界のデザイン

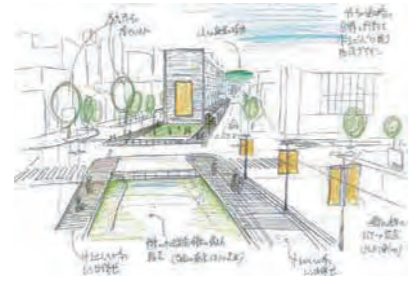
- ③時間による変化(沿道・営み)を考えた通りのデザインとは?
 >>> 区間によってことなる沿道の特性や営みの違いを
 考慮した設えを検討することで、時間の経過を通して、
 より多くの人でにぎわう仕組みを構築

ゆるやかな変化で水上ビルをつなぐ



●PLAT 前広場

デッキからの連続性を強く感じさせる濃色舗装と張芝の組合せを採用。



レンガ舗装と張芝の組合せ事例

●区間①の考え方

- 水上ビル側の魅力を引き立たせるため、南北で対照的なデザインを採用。
 →北側歩道は現況を維持しながら歩道照明を追加し、夜間の安全性を確保。
 →水上ビル側はアーケードを活かし、レンガ舗装や裸電球照明による独特な雰囲気演出。

温かい色の照明がいい!

道路デザインのイメージ【区間①】



●区間②③の考え方

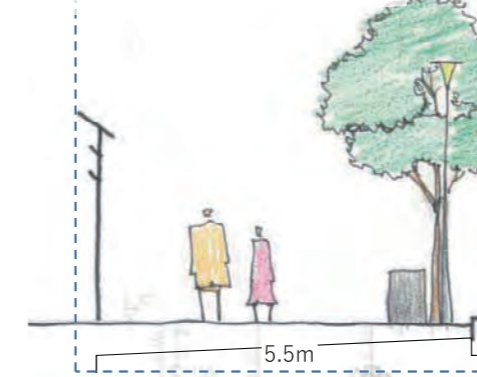
- まちなか広場との一体的な空間利用を図るため歩道をフラット化し、同一の舗装に。
 ・駅前大通り側からの円滑な人の流入出を促すため街路樹による東西のつながりを確保。

道路デザインのイメージ【区間③】



【北側歩道】

- 北側歩道は原則大きな改築は行わず、夜間の安全性と静けさを演出するため歩道照明を追加(暖色系とする)



【南側(水上ビル側)歩道】

- 水上ビル側歩道は1~2m拡幅
 既存歩道部は現在のアーケード活用を前提とし、舗装・照明と合わせて連続性を確保

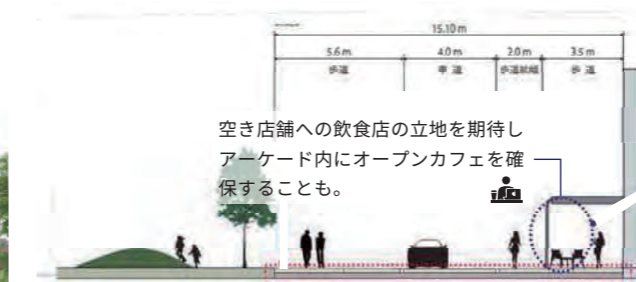


●水上ビル側歩道の照明・ボラードに関する考え方



- 照明・安全施設・地上器は同色系に統一。
- ボラードは高さを抑え、照明と一体的に整備。

- 車と人の安全性を大事に!
- 車のスピードを落とす工夫を!
- 広場とみちの境界も大胆にデザインしたら?



●区間④の考え方

- 居住者や地元に着した商店が多いため庭や縁側のような日常的に安らぎのある空間に。
 >>> プランターは管理が大変
 >>> お店の個性を生かすきっかけになるかも

道路デザインのイメージ【区間②・④】



TOPICS! 「道路の利活用に関して」

計画案では水上ビル側に約5.5mの歩道空間が生まれ、広々とした活用が可能となります。しかし、利活用が進まなければかえってさびしい印象となりがねません。

そこで、使い方・歩き方・地域による管理の仕方等について、活発な意見交換がされました。

- ワークショップで出た主な意見 >>>>>
 - 沿道の方だけでなく、みちを教育現場に、大学生の若い力を積極的にまきこもう。
 - みち・まちづくりに貢献したらインセンティブがあるような、維持管理のしくみを考えよう。
 - 整備後だけでなく、工事中といったネガティブな期間をどうするかも課題。ワークショップでかわりにせず、機運づくりをはじめていく必要がある。

まとめ!

- やさしさの空間全体と使いこなしの盛り上げの知恵あふれる豊橋モデルのみに!
 一歩行者優先の”見える化”を徹底的に(ボラード照明、植栽等、ディテールを大事に)
- 水上ビルらしさと、ハツラツと呼応するバランスある華やき
 一空が広く見える高木や照明の配慮、店舗と道も呼応する。
- らしさはみちとひろばとの全体的視野から生まれるわわ
 一まちスケールのグランドデザインの提案(駐輪場等も含めて考える)
- 義務的管理をこえて、愛着管理を育みたい
 一個性と統一感のあるプランターおよび学生によるコミュニティビジネスなどの連携

”やすらぎ”と
 ”にぎわい”
 のあるとおりへ

萱町通り 計画素案を吟味しよう(2)

前回(第3回)のワークショップの意見を踏まえて修正された全体計画が提示され、詳細の見直しについての議論を行いました。さらにワークショップ後半では、将来に向けた営みの変化を考えながら、整備後の使い方や管理の仕方を話し合いました。

区間ごとの考え方

当日提示された計画素案

凡例 : ワークショップで出た意見

基本的な考え方

豊橋一上質な時間が過ごせる、出会いと潤いの都市空間

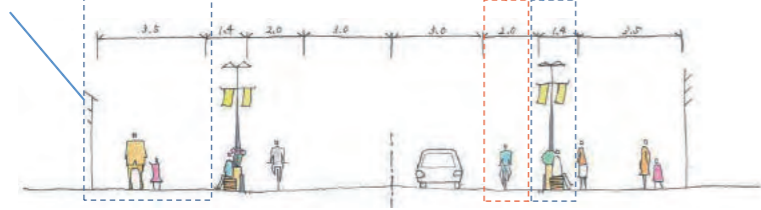
- ①「第一通り」にふさわしい上品で親しみやすい雰囲気づくり
 - >>> 空を広くとり、お店の顔が見通せる中心部の都会的空間づくり
 - >>> 駅前大通・松葉公園など周辺のみどりつながり、潤いのある空間づくり
- ②安心して歩行・滞留できる歩行空間と機能的な自転車・自動車の空間
 - >>> 歩行者と(早い)自転車の分離とセミフラット化
 - >>> 温かみのある照明や歩きやすい歩道の舗装
- ③地域で守り育てるみどりの配置
 - >>> プランターを中心とした樹木、草花の配置
- ④上質な時間が過ごせる滞留空間の形成
 - >>> ゆとりと安心感のある滞留空間の整備・利活用



歩道幅員は変更せず、植栽帯の除去とセミフラット化により広く使える空間に

全線にわたって車道部に自転車通行空間を確保

植栽帯のあった場所をくつろぎの空間として積極的に活用(地元主導)



前回(第3回)ワークショップからの主な修正・改善点

安全かつ見通しの良い歩道と車道の境界

- 前はフラット(段差0cm)を提示し支持されたが、安全性への懸念が示されたためセミフラット(段差5cm以内)を提案
- 安全性と見通し、使い勝手に配慮し、縁石や柵などの安全施設の組み合わせを提案

舗装や照明などのイメージ具体化

- 前回のワークショップでの意見を踏まえ、足元照明の活用を提案
- 整備後の利活用を意識した舗装パターンとベンチのデザイン案などを提案

まちなか広場や水上ビルからのみどりのつながりを残す区間

車道かさ上げによるセミフラット区間

・交差点では、街路樹を残して南北とのつながりを確保

自転車通行空間は全線にわたって原則1mは確保

車道のかさ上げは、駅前大通り交差点まで

松葉公園のみどりのつながりを確保(南側から見通せるポイントに)

自転車ネットワークの確保(駐車場出入口は十分な注意喚起対策)

松葉公園とのみどりのつながりを残す区間

区間④

・住宅地へ入る一方通行道路のため、車道の舗装を一部変えてもよい

空を広くとりお店の顔がよく見える親しみやすく都会的な区間

区間③

広小路通り

区間②

駅前大通り

区間①

駅前大通りを挟む南北区間は、反対からでも通りの連続性が認識できるように並木を維持。



区間④の考え方

- ・松葉公園周辺はみどりの連続性を考慮し街路樹を残す。
- ・広小路通り周辺区間とベンチなどのデザインを変え、憩いや潤いの区間に。
- ムクドリ対策が気になる!

区間③の考え方

- ・プランターなど低木植栽を活用し、空や建物の顔がよく見える親しみやすい通りに。
- ・固定式のベンチ等による休憩空間の整備と、沿道や地域がアイデアを出して活用できる空間の組み合わせ。
- ・アーケードやオーニングなどの扱いかたについては沿線で統一。
- 安全性は植栽で境界を
- ベンチなどは店舗が工夫できるやり方を!(自由と責任)
- 自転車の見通し、自転車利用者への教育

区間②の考え方

- ・駅前大通りより北側は車道をかさ上げしセミフラット構造に。
- ・駅前大通り～広小路通りは大通りからの接続を踏まえ並木を維持。

区間①の考え方

- ・水上ビルから駅前大通りは他の区間に合わせた設えとするが車道はかさ上げしない。
- ・街路樹を残し、大通り対岸からの連続性確保とまちなか広場とのつながりを確保。
- 街路樹があるので路地との交差点が分かりにくいかも

道路付属物のデザインに関する考え方

- ・照明・安全施設・地上器は同系色に統一。
- ・ポラードや柵は高さを抑え照明と一体的に整備。
- ・地上器の有効活用。
- 通りの物語を感じるデザインに

歩道の舗装デザインに関する考え方

- ・車道舗装は機能性を考えアスファルト舗装。
- ・歩道舗装は通行する部分と滞留する部分とで舗装を分け、来街者を迎える空間に。
- 滑らない素材、ベビーカーが目安

TOPICS! 「みちの使いこなしについて」

休憩スペースなどの設えをどんなふうにするかイメージしたり、歩道の使い方・歩き方、管理の仕方について話し合いました。グループで話し合われた成果は今後の計画に活かされます。ここでは全体議論に挙がった話題の主なものを紹介します!

全体議論で出た主な意見 >>>>>

お金をかけて得る上品さでなく、市民生活から湧き立つ品の良さを!

多様な担い手を巻き込んだ協議会方式で維持管理・利活用を継続的に議論しよう。

沿道の賑わいづくりと人のふるまい有ってこそそのみちに。



まとめ



- 頻りに使われるお休み処とバランスの良い街路樹をもって、くつろぎと安心
- 角や辻も印象的で、沿道建物を誘導し、店のハシゴができる厚み
- 区間毎に緩急をつけて、舗装・照明等物語がハツラツ
- とりわけ緑、街路家具や自転車利用のルール等、維持管理を楽しむさ

"品格"と"親密さ"のあるとおりに

全5回プログラム

第1回 希望と不安を分かちあおう ～魅力ある“みち・まちづくり”へ

【両通り合同開催】

日時 | 2016年8月8日(月) 19:00～21:00

場所 | 穂の国とよはし芸術劇場プラット

創造活動室 A

第3回 みちづくりの計画案を吟味しよう(1)

【水上ビル(北側)】

日時 | 10月17日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館ここにこ2階研修室 AB

【萱町通り】

日時 | 10月29日(土) 14:00～17:00

場所 | 新本町会館

第4回 みちづくりの計画案を吟味しよう(2)

【水上ビル(北側)】

日時 | 11月21日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館ここにこ2階研修室 AB

【萱町通り】

日時 | 11月28日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館ここにこ2階研修室 AB

第2回 地域の魅力を生かしたみちづくりとは

【水上ビル(北側)】

日時 | 9月4日(日) 14:00～17:00

場所 | 開発ビル6階601会議室

【萱町通り】

日時 | 9月12日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館ここにこ2階研修室 AB

第5回 歩いて楽しい、出来事であふれる みちを育てよう

【両通り合同開催】

日時 | 2017年2月20日(月) 19:00～21:00

場所 | こども未来館ここにこ2階スタジオ A

次回はこちら
第5回!

【アンケートより】

水上ビル(北側)

1) ワークショップに参加して

- ・具体的にビジョンが見えてきた。
- ・ハードでつくりこみすぎない方向で考えられていることに共感。

2) 印象的だったこと、実践したいと思ったこと

- ・皆の意見が前向きな傾向に変化してきたことが印象的であった。
- ・要は「使いこなせるか」「いろんなソフトアイデアを出し続けられるか」だと思いますが、道をつくった後、どうやって誰がそれをやっていくのが大変な課題になりそうだと感じました。
- ・課題(色彩計画、植栽計画、メンテナンス、道路管理)について勉強する会などがあるとよいと思います。
- ・完成後の希望と工事中の不安。

3) その他運営に関して

- ・大学の実習でとりあげて考えていきたいです。

萱町

1) ワークショップに参加して

- ・大分理想と現実が近づいてきたように感じた。皆さん維持管理、お金のことを考えていた。
- ・通りに住んでいる人がたくさん参加してくれて、いろんな意見が聞けた。
- ・自分の働いている地域の前向きな話は楽しい。

2) 印象的だったこと、実践したいと思ったこと

- ・維持管理には積極的に参加したい。
- ・「上質で親しみやすい雰囲気」と「高級な店、金持ち」というのは結び付かない。コンセプトはブレないようにしてほしい。
- ・整備した後の自転車の利用ルールや、利用者のマナー・モラルを心配する意見もあり、今後議論が必要だと感じた。

3) その他運営に関して

- ・ふり返り通信があったので前回のことが分かってよかった。

萱町・水上ビル ストリートデザインワークショップ ふり返り通信 vol.04

発行日：2017年2月20日

発行：豊橋市都市計画部 まちなか活性課 (TEL / 0532-55-8102 E-mail / machinaka@city.toyohashi.lg.jp)

協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊

